

個別の指導計画作成の手引き ダイジェスト版

新潟県立教育センター

保護者と協働で作成することを前提に、適切な表現で記入

個別の指導計画1(プロフィール)

番号	氏名	記入日	記入者
実態状況	実態や状況を具体的に記入(例:英・数の学力不振、授業中頻繁に離席)		
家庭環境	具体的に記入(例:父・母・兄。父は単身赴任)		
生育歴	可能な範囲で具体的に記入(例:幼少時から活発、兄弟間でのケンカが多かった)		
中学校からの引継	可能な範囲で具体的に記入(無い場合は「無し」と記入)		
諸検査結果	可能な範囲で具体的に記入(無い場合は「無し」と記入)		
学校生活	領域	本人の課題・困難	本人の長所・様子
	学習	学習全般における課題・困難について具体的に記入。(例:暗記が苦手。書くことが苦手。計算が苦手等)	関わり方のヒントとして、学習面における長所・様子について具体的に記入。
	行動	行動全般における課題・困難について具体的に記入。(例:座学での離席が10分に1回程度)	関わり方のヒントとして、行動面における長所・様子について具体的に記入。
	対人	対人関係全般における課題・困難について具体的に記入。(例:周囲から怖がられており、孤立気味)	関わり方のヒントとして、対人関係における長所・様子について記入。
	言語	言語表出等における課題・困難について具体的に記入。(例:自分の気持ちを言語化できず、行動問題へ繋がる)	関わり方のヒントとして、言語面における長所・様子について記入。
	生活	生活における課題・困難について具体的に記入。(例:身だしなみが整わない。忘れ物が多い)	関わり方のヒントとして、生活面における長所・様子について記入。
本人の願い	具体的に記入(例:高校を卒業して、専門学校へ行きたい)		
保護者の願い	具体的に記入(例:高校を卒業し、就職してもらいたい)		
教師の願い	具体的に記入(例:座学での離席を改善し、トラブルなく過ごしてほしい)		

さしあたり空欄があっても構わない。新情報は適宜書き加える

校内で実施したチェックリスト、Q-U、アセス、専門機関での検査結果等を記入

行動改善のために数値を用いて記述

本人・保護者・学校の願いをそれぞれ聞き取る

個別の指導計画2(各教科における支援等)

新潟県立〇〇高等学校

指導の方針:

①学級内ルール(話を聞く姿勢)を明示し、遵守させる。②机間巡視や声かけでよい点をほめ、重要点は注意を引きつけて授業を行う。③着席時間を5分刻みで延ばし、定期考査毎に取組を評価する。離席が多い時は別室でクールダウンさせる。

支援が必要なこと:

①授業プリントの管理(ファイルを持つ)②板書(黒板を二分割し、黄色チョークで書かれた語句は確実に書写する)③落ち着かない気分(サイン提示で退室を認め、落ち着いたら授業に戻る)

教職員全体で、この生徒(及びクラス)に関わる際の共通事項を具体的に記入する

教科・領域等	担当	目標・課題	具体的な手立て	評価(定期考査毎)(学期毎)
国語	〇〇	説明を聞き一人で作業ができる	各教科の支援にばらつきが出ないように、本人への支援を具体的に記入する	
地歴	〇〇	プリントの空欄に確実に記入する		
数学	〇〇	小テストで半分取れるよう、四則計算を頑張る	我流の計算は指摘して修正する	
理科	〇〇〇	積極的に実験する	手順を黒板に投写し、教卓前で手本を提示する	
...	...	具体的な目標(確認でき数値化しやすい事項)を記入する	...	本人の実態により、支援が不要な場合は「なし」でよい
保健体育	〇〇		特になし	
英語	〇〇〇	プリントの空欄に確実に記入する	黄色で書かれた語句を書写したか確認する	
家庭	...	特定の教科だけ支援を行うのではなく、それぞれの教科でできることを記入する(声かけ、観察、心理的サポート等)		
情報	...			
...	...			

	学校での様子	これまでの対応
授業場面	入学から順調に推移しているが、提出物を忘れることが時々ある。	指導方針をクラスの方針としている。入学1か月経過後、中学校から情報を得て本人と面談した。
休み時間	友人と談笑している姿が見られる。指示後の行動が遅れることがある。	クラスの雰囲気作りと友人による自然なサポートを促している。
その他	清掃及び委員会活動に参加できている。部活動には入っていない。	真面目な姿勢を誉め、保護者にも様子を伝達している。

学校での様子を定期テスト毎に記録し、学期毎に目標及び手立ての改善、方針の見直しを行う(適切な行動が安定して出るよう目標等を修正する。)

個別の指導計画作成以降、どのような対応をしてきたか記述する。また、本人対応に関して有益な情報は記録に残す